資料 1

第４期中期目標に係る意見への対応

発言者	発言内容	第４期中期目標への対応（考え方）
第４回評価委員会（R6.1.22）		
吉川委員	・島根県立大学は地域に密着した大学であるという方向性と思われるため、地域を常に見据えている、謳ったほうがよいのでは。	P2　基本目標 これまで４つの基本目標としていた内容から「地域に貢献する人材を輩出する大学」１つを基本目標とすることにより、「地域貢献」「人材輩出」の観点から大学が中期目標期間中に目指す大きな方向性をより明確に示すこととした。 その上で、従来から中期目標案に記載のあった内容を「基本目標を達成するための重点的な取組」として、項目を整理したうえで再掲することとした。 なお、これまでの基本目標としていた上記以外３つの基本目標は、「大学改革に関する最重要事項」として記載することとした。
今井委員	・中期目標で「県立大学でどういった人材を輩出するのか」見せ方、書き方、伝え方を工夫してみては。	
吉川委員	・地域貢献、国際交流のところの「長期実践型キャリア教育」の部分について、地元企業を知る機会の創出ということで、地元企業における長期実践型キャリア教育という形、「地元企業」を入れていくのも一案ではないか。	P８　地域貢献　県内就職率の向上 長期実践型キャリア教育の前に「地元企業における」の文言を追加し、県内・地域色を更に鮮明に表すこととした。
服部委員	・地域貢献・国際交流の「国際交流」の意味合い、単なる交流ということではなく、そこから生まれる価値観やそれを共有するものであれば、グローバル化という表現方法となるかもしれないため、検討願いたい。	P９　グローバル化の推進 もともと「地域貢献・国際交流」として項目立てを行っていたものを「地域貢献」、「グローバル化の推進」に別々の項目立てとし、各項目毎の取組を明確化した。 「グローバル化の推進」については委員のご意見を踏まえ、大学と海外大学等との関係性は相互交流に留まらず、教育、研究を通して生じる国内での枠組みを超えた価値観の共有といったものもあることから「国際交流」から「グローバル化の推進」へ表現方法を変更した。